

平成 26 年度決算に係る
定期監査調書

平成 27 年 6 月

文化観光スポーツ局 交流推進課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁～ 9 頁
7	決算調書（総括表）	9 頁
8	事業別実施状況調べ	9 頁
9	予備費の充用調べ	9 頁
10	繰越関係調べ	9 頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	10 頁
12	収入事務処理状況調べ	10 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	10 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	10 頁
16	債務負担行為の状況調べ	11 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	11 頁～ 17 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	18 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	18 頁
19	財産に関する調べ	18 頁～ 19 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	19 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	19 頁

22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	19頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	19頁
24	寄附物件の受納状況調べ	19頁
25	備品の処分状況調べ	19頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
27	貸付金等状況調べ	19頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	20頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
交流推進課	韓国交流担当	(1) 国内交流の推進に関すること
	ロシア交流担当	(2) 国際交流の推進に関すること
	東アジア交流担当	(3) 外国青年の招致に関すること
	交流支援担当	(4) 旅券の発給に関すること
	旅券担当	

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	
定員	16	16					16	16	
現員	(0) 16	(0) 17	()	()	()	()	(0) 16	(0) 17	
過不足(△)		1						1	H26介護休暇代替
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	9	12					9	12	国際交流員9人 H26.4以降 1人採用。H27.3までに2人退職。 H27.4以降 観光戦略課に2名配置替。

5 役付職員の調べ

(平成27年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課長	小谷 章		2	
課長補佐	岡山 佳文		2	
課長補佐	山下 大治	3	5	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業</p> <p>決算（見込）額 1,250千円 （財源内訳） 一般財源 1,250千円</p> <p>○将来ビジョン I【ひらく】 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく</p> <p>○政策項目 II産業未来・雇用創造</p> <p>⑤-3 北東アジアゲートウェイの推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県及び鳥取県の首長が一堂に会する「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」が中央県主催で開催され、北東アジア地域の共同发展・繁栄について議論を行った。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 時期 平成26年7月21日（月） 2 場所 モンゴル （ベスト ウェスタン プレミア トゥーシン ホテル） 3 出席者 中央県 ドルジ・バヤルバト知事 江原道 崔文洵（チェ・ムンスン）知事 吉林省 巴音朝魯（バーインジャオル）省長 沿海地方 スタリチコフ・アレクセイ国際協力・観光発展局長 鳥取県 平井伸治知事 4 テーマ 北東アジア地域間協力の成果実用化促進のための新たな方策 5 関連事業（サミット本会議と同時開催） <ul style="list-style-type: none"> ・北東アジア地方政府環境保護機関実務者協議会、北東アジア経済協議会、北東アジア美術作品展示会 ・北東アジアマスコミ代表者会議（民間：新日本海新聞社） <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 本県提案事項であるスポーツ交流について、率先して進める意思を示すためサミット開催と同時期に中央県で開催された国際草原マラソンに参加した。</p> <p>ウ 成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業、ビジネス、教育、文化、スポーツ分野における協力を一層進め、一致団結して交流を深めていくことで合意した。 2 環日本海定期貨客船などの航路や陸路の維持・発展・開拓に各地域が一丸となって尽力することで合意した。併せて、チャーター便や定期便などの各地域間を結ぶ空の道を積極的に開くなど、観光・経済分野の取り組みを強化していくことで合意した。 3 「第2回GTI（広域圏間江開発計画）北東アジア地方協力委員会会議」において、持続可能な経済成長に向けた地域間連携の具体的な議論を交わし、北東アジア地域内の物流の円滑化に重点的に取り組み、物流ロジスティクスについて協議を強化することで合意した。 4 「全国障がい者芸術・文化祭」のステージ公演者の派遣について協力要請を行い、各地域から了解をいただいたほか、北東アジア地域でのオリンピック開催を契機として、各地域が開催するスポーツイベントへの参加や合同合宿の実施など積極的にスポーツ交流を進めていくことを提案し、各地域から賛同を得た。 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・次回サミットの開催地域が韓国江原道に決定した。 ・北朝鮮の拉致問題について関係地域に働きかけた。 <p>エ 課題 引き続き、物流促進・観光客誘致等の経済・観光分野を中心として、合意事項の具体化を進める。 また、地域間の相互理解促進と人材育成のため、青少年交流やスポーツ交流を推進する。</p>

事業名	概要															
<p>江原道友好交流20周年記念事業</p> <p>決算（見込）額 15,714千円 （財源内訳） 一般財源 15,714千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅰ【ひらく】 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく</p> <p>○政策項目 Ⅱ産業未来・雇用創造 ⑤-3 北東アジアゲートウェイの推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 鳥取県と韓国江原道との友好交流提携20周年を契機とし、両県道の一層の友好促進及び県民の国際理解の増進を図る。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="456 448 1460 913"> <thead> <tr> <th></th> <th>鳥取県開催</th> <th>江原道開催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時 期</td> <td>10月4日（土）、5日（日）</td> <td>10月21日（火）から23日（木）まで</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>鳥取県米子市、境港市</td> <td>韓国江原道春川市、江陵市</td> </tr> <tr> <td>訪 問 団</td> <td>江原道訪問団43名</td> <td>鳥取県訪問団44名</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歓迎レセプション ・ 記念式典 ・ 全国障がい者芸術文化祭「あいサポート」 ・ 「日韓ピースウォーキング」鳥取県ゴール式 ・ 境港国際旅客ターミナル・DBSフェリー視察 等 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記念レセプション ・ 「日韓ピースウォーキング」江原道出発式 ・ 道知事、道議会議長表敬 ・ 道議会での演説 ・ G T I 国際貿易・投資博覧会 ・ 交流写真展及び児童美術展開幕式 等 </td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施にあたり改善等に取り組んだ点 江原道との交流が幅広い分野で行われていることや、それを支える交通インフラ（米ソ便、DBS）の活用を広く県民にPRした。 また、県・市町村・民間が実施する江原道との交流事業にも「友好交流提携20周年記念」の冠を付けることにより、20周年記念を盛り上げると同時に多様な主体の参画を図った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>（ア）鳥取県開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 崔文洵江原道知事が両県道知事対談で、両地域が環日本海地域をリードし、広域での観光や物流の交通網をつくることを提唱され、協力連携体制がさらに固いものとなった。 ・ 全国障がい者芸術・文化祭「あいサポートコンサート」では、両県道知事が「あいサポート運動」の推進に関する協定書に調印し、同運動の推進に向けて力を合わせることを約束した。 <p>（イ）江原道開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道知事表敬で平井知事は、今後の更なる交流推進、平昌冬季オリンピックへの協力、両県道による環日本海定期貨客船を活用した交流発展を呼びかけた。崔文洵知事からは環日本海定期貨客船の具体的な航路活性化に向けた検討を始めた旨の発言が行われた。 ・ 平井知事による江原道議会での演説が実現し、平井知事は、環日本海定期貨客船を活用し両地域がリーディングパートナーシップを発揮していくことを呼びかけた。 <p>エ 課題 引き続き、両県道の友好協力関係が一層促進されるとともに、県民の国際理解の増進が図られるよう交流を推進する。</p>		鳥取県開催	江原道開催	時 期	10月4日（土）、5日（日）	10月21日（火）から23日（木）まで	場 所	鳥取県米子市、境港市	韓国江原道春川市、江陵市	訪 問 団	江原道訪問団43名	鳥取県訪問団44名	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歓迎レセプション ・ 記念式典 ・ 全国障がい者芸術文化祭「あいサポート」 ・ 「日韓ピースウォーキング」鳥取県ゴール式 ・ 境港国際旅客ターミナル・DBSフェリー視察 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記念レセプション ・ 「日韓ピースウォーキング」江原道出発式 ・ 道知事、道議会議長表敬 ・ 道議会での演説 ・ G T I 国際貿易・投資博覧会 ・ 交流写真展及び児童美術展開幕式 等
	鳥取県開催	江原道開催														
時 期	10月4日（土）、5日（日）	10月21日（火）から23日（木）まで														
場 所	鳥取県米子市、境港市	韓国江原道春川市、江陵市														
訪 問 団	江原道訪問団43名	鳥取県訪問団44名														
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歓迎レセプション ・ 記念式典 ・ 全国障がい者芸術文化祭「あいサポート」 ・ 「日韓ピースウォーキング」鳥取県ゴール式 ・ 境港国際旅客ターミナル・DBSフェリー視察 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記念レセプション ・ 「日韓ピースウォーキング」江原道出発式 ・ 道知事、道議会議長表敬 ・ 道議会での演説 ・ G T I 国際貿易・投資博覧会 ・ 交流写真展及び児童美術展開幕式 等 														

事業名	概	要															
吉林省友好交流20周年記念事業 決算（見込）額 9, 112千円 （財源内訳） 一般財源 9, 112千円 ○将来ビジョン I 【ひらく】 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく ○政策項目 II 産業未来・雇用創造 ⑤-3 北東アジアゲートウェイの推進	ア 目的及び事業の実施状況 （ア）目的 鳥取県と中国吉林省との友好交流20周年を契機とし、両県省の一層の友好促進及び県民の国際理解の増進を図る。 （イ）事業の実施状況 <table border="1" data-bbox="464 450 1461 1218"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県・吉林省友好交流の歩みパネル展</td> <td>【西部(花回廊)】 平成26年8月5～11日 【中部(未来中心)】 平成26年8月21～26日 【東部(伊予鳥取北店)】 平成26年10月11～17日</td> <td>県内3地域において、両県省の交流の歩みをパネルで紹介するとともに、吉林省の自然風景等の写真を展示した。 ※8月5日の西部会場パネル展開催初日に吉林省代表団を招聘し、オープニングセレモニーを実施。</td> </tr> <tr> <td>「日中韓青少年文化体験事業」への県内大学生派遣</td> <td>平成26年8月25日～28日</td> <td>吉林省政府主催。同省の友好交流地域である鳥取県、島根県、韓国江原道及び吉林省の青少年による中国文化体験事業、青少年交流事業に県内の大学生8名を派遣した。</td> </tr> <tr> <td>「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」への吉林省青少年団招聘</td> <td>平成26年10月10～14日</td> <td>友好交流20周年記念事業として、同省から招聘した吉林華橋外国語学院の大学生が「鳥取県青少年郷土芸能の祭典2014」で公演するとともに県内の青少年と交流した。</td> </tr> <tr> <td>「とっとりマラソン2015」への吉林省マラソンランナー招聘</td> <td>平成27年3月13日</td> <td>吉林省から招聘したマラソンランナー2名が鳥取マラソンの海外招待選手として参加した。</td> </tr> </tbody> </table> イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 「日中韓青少年文化体験事業」に派遣した県内大学生には、吉林華橋外国語学院の学生を受け入れる場合の受入れプランの一部を考えてもらう等、主体的な参画を促し、今後の国際交流の担い手づくりにも努めた。 ウ 成果 鳥取県・吉林省友好交流のあゆみ展を県内3地域で巡回展示するとともに、とっとり花回廊で開催されたオープニングセレモニーでは、初代鳥取県中国人国際交流員の薛雲（セツ・ウン）吉林省外事弁アジア処長をお招きし、過去に長春市に派遣した倉吉農業高等学校「倉農太鼓部」の生徒による和太鼓を披露する等、両県省の20年にわたる交流の歴史を相互で再確認する契機となった。 また、「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」では多くの観衆（主催者発表600人）の前で、中国の伝統衣装をまとい、詞の朗読、伝統舞踊「水袖舞」、合唱を披露。 演目終了後、司会者（鳥取住みます芸人ほのまる）が吉林華橋外国語学院の学生にインタビューを実施。学生は流暢な日本語で鳥取県の自然に感銘を受けたこと、日本のアニメがきっかけで日本に関心を持ったこと等を説明。吉林省の青少年が伝統芸能を披露するとともに、鳥取への印象を日本語で流暢に答える様子は県民の方に本県の友好交流先である吉林省を強く印象づけた。 さらに、「日中韓青少年文化体験事業」に本県の大学生を派遣、現地の学生との交流を通じて、本県青少年の国際理解を促進することができた。 エ 課題 吉林省との青少年交流は、次世代を担う人材育成の観点から有意義であるが、今後は、他機関の自主的な動き（例えば両県省の大学間の交流など）へと繋げていく必要がある。	事業名	実施時期	主な内容	鳥取県・吉林省友好交流の歩みパネル展	【西部(花回廊)】 平成26年8月5～11日 【中部(未来中心)】 平成26年8月21～26日 【東部(伊予鳥取北店)】 平成26年10月11～17日	県内3地域において、両県省の交流の歩みをパネルで紹介するとともに、吉林省の自然風景等の写真を展示した。 ※8月5日の西部会場パネル展開催初日に吉林省代表団を招聘し、オープニングセレモニーを実施。	「日中韓青少年文化体験事業」への県内大学生派遣	平成26年8月25日～28日	吉林省政府主催。同省の友好交流地域である鳥取県、島根県、韓国江原道及び吉林省の青少年による中国文化体験事業、青少年交流事業に県内の大学生8名を派遣した。	「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」への吉林省青少年団招聘	平成26年10月10～14日	友好交流20周年記念事業として、同省から招聘した吉林華橋外国語学院の大学生が「鳥取県青少年郷土芸能の祭典2014」で公演するとともに県内の青少年と交流した。	「とっとりマラソン2015」への吉林省マラソンランナー招聘	平成27年3月13日	吉林省から招聘したマラソンランナー2名が鳥取マラソンの海外招待選手として参加した。	
事業名	実施時期	主な内容															
鳥取県・吉林省友好交流の歩みパネル展	【西部(花回廊)】 平成26年8月5～11日 【中部(未来中心)】 平成26年8月21～26日 【東部(伊予鳥取北店)】 平成26年10月11～17日	県内3地域において、両県省の交流の歩みをパネルで紹介するとともに、吉林省の自然風景等の写真を展示した。 ※8月5日の西部会場パネル展開催初日に吉林省代表団を招聘し、オープニングセレモニーを実施。															
「日中韓青少年文化体験事業」への県内大学生派遣	平成26年8月25日～28日	吉林省政府主催。同省の友好交流地域である鳥取県、島根県、韓国江原道及び吉林省の青少年による中国文化体験事業、青少年交流事業に県内の大学生8名を派遣した。															
「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」への吉林省青少年団招聘	平成26年10月10～14日	友好交流20周年記念事業として、同省から招聘した吉林華橋外国語学院の大学生が「鳥取県青少年郷土芸能の祭典2014」で公演するとともに県内の青少年と交流した。															
「とっとりマラソン2015」への吉林省マラソンランナー招聘	平成27年3月13日	吉林省から招聘したマラソンランナー2名が鳥取マラソンの海外招待選手として参加した。															

事業名	概要																				
<p>モンゴル中央県交流推進事業</p> <p>決算（見込）額 4,621千円 （財源内訳） 一般財源 4,621千円</p> <p>○将来ビジョン I【ひらく】 地域で・県外で・ 国外で新時代に向 かって扉をひらく</p> <p>○政策項目 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 本県先進分野での支援等を行うことにより、鳥取県とモンゴル中央県の架け橋となる人材の養成に取り組みながら、両県の友好関係を発展させる。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="454 465 1433 990"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>人数</th> <th>実施時期</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央県からの留学生支援鳥取県奨学金</td> <td>1人</td> <td>平成26年4月～平成27年3月</td> <td>中央県出身の優秀な若者を奨学生として鳥取環境大学に受入れた。</td> </tr> <tr> <td>行政研修生受入れ</td> <td>3人</td> <td>平成26年4月27日～5月2日</td> <td>病院間の技術協力、医療分野での連携を進めるため、中央病院において医療専門家を受け入れ、視察や意見交換を行った。</td> </tr> <tr> <td>農業専門家派遣</td> <td>1人</td> <td>平成26年8月17日～8月24日</td> <td>農業大学の専門家を中央県に派遣し、農業施設、農家等への農業指導・講習会を実施した。</td> </tr> <tr> <td>農業研修員受入れ</td> <td>1人</td> <td>平成26年9月29日～11月29日</td> <td>中央県における農業指導者としての技術習得を目的に研修員を受入れ、野菜の生産技術の更なる向上を図る研修を行った。</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 将来、両地域間の交流のコーディネーターとなりうる中央県出身の優秀な若者を育成するための奨学金制度を創設した。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学生には、フェイスブックを活用した現地での鳥取県の情報発信や、本年度開催された鳥取県と中央県との国際交流事業への参加等、将来両県の架け橋となる人材に相応しい経験を積ませることができた。 ・中央県の農業や医療分野の水準の引き上げに寄与するとともに、両地域における更なる交流を推進することができた。 <p>エ 課題</p> <p>現在、鳥取県の奨学金制度や県内民間交流団体による現地での日本語学級運営等は鳥取県側のみの取り組みとなっている。今後、鳥取県だけでなく、中央県においても、高校の外国語学習科目に日本語を導入してもらう等、両県の架け橋となる人材の養成に向けて取り組むように中央県政府側に働きかけていく必要がある。</p>	事業名	人数	実施時期	主な内容	中央県からの留学生支援鳥取県奨学金	1人	平成26年4月～平成27年3月	中央県出身の優秀な若者を奨学生として鳥取環境大学に受入れた。	行政研修生受入れ	3人	平成26年4月27日～5月2日	病院間の技術協力、医療分野での連携を進めるため、中央病院において医療専門家を受け入れ、視察や意見交換を行った。	農業専門家派遣	1人	平成26年8月17日～8月24日	農業大学の専門家を中央県に派遣し、農業施設、農家等への農業指導・講習会を実施した。	農業研修員受入れ	1人	平成26年9月29日～11月29日	中央県における農業指導者としての技術習得を目的に研修員を受入れ、野菜の生産技術の更なる向上を図る研修を行った。
事業名	人数	実施時期	主な内容																		
中央県からの留学生支援鳥取県奨学金	1人	平成26年4月～平成27年3月	中央県出身の優秀な若者を奨学生として鳥取環境大学に受入れた。																		
行政研修生受入れ	3人	平成26年4月27日～5月2日	病院間の技術協力、医療分野での連携を進めるため、中央病院において医療専門家を受け入れ、視察や意見交換を行った。																		
農業専門家派遣	1人	平成26年8月17日～8月24日	農業大学の専門家を中央県に派遣し、農業施設、農家等への農業指導・講習会を実施した。																		
農業研修員受入れ	1人	平成26年9月29日～11月29日	中央県における農業指導者としての技術習得を目的に研修員を受入れ、野菜の生産技術の更なる向上を図る研修を行った。																		

事業名	概要
<p>東アジア多地域連携 交流事業</p> <p>（鳥取県・江原道・沿海地方による青少年スポーツ交流事業）</p> <p>決算（見込）額 1,913千円 （財源内訳） 一般財源 1,913千円</p> <p>○将来ビジョン I【ひらく】 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 ⑤-3 北東アジアゲートウェイの推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 （ア）目的 東アジア地域の多地域間の青少年交流を通して国際感覚の涵養を図るとともに、環日本海定期貨客船、米子ーソウル便などが「友好を育み、地域をつなぐ」共通の交通・交流基盤であり、アジアの成長を取り込む「海」と「空」の道であることを広くPRすることによって、利用促進に寄与する。</p> <p>（イ）事業の実施状況 ①期 間：平成26年7月11日（金）～15日（火） ②参加国・人員：鳥取県 15名〔選手11（テニス高校生女子5・バドミントン中学生男子3、女子3）監督等2、行政2〕 江原道 15名〔選手11（テニス高校生女子5・バドミントン中学生男子3、女子3）監督等3、行政1〕 沿海地方 15名〔選手11（テニス高校生女子5・バドミントン中学生男子3、女子3）監督等2、行政2〕</p> <p>③場 所：江原道内 ④内 容：合同練習、交流試合、文化体験（扇子作り等）、道内視察等</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 スポーツ交流では、様々な試合（混合ダブルス）を組むことができるように、昨年度まで全員男子選手が参加していたバドミントンの半分を女性選手とした。 また、スポーツ以外の文化体験プログラム（扇子作り）も充実させた。</p> <p>ウ 成 果 ・海外の青少年との共同体験を通じて相互理解を深め、国際感覚を養うことにより今後の交流の架け橋や地域のリーダーとなる人材の育成に繋がった。 ・他地域のレベルの高い選手との試合を通じて、鳥取県選手のスポーツに対する意識向上に寄与した。</p> <p>エ 課 題 ・平成27年度の開催地である沿海地方に対して、スポーツ以外の部分での交流プログラム（文化体験、ホームステイ等）の実施を働きかける必要がある。</p> <p>（参考） 平成22年度～24年度 バドミントン交流 （鳥取県・江原道・沿海地方で持ち回り開催） 平成25年度～27年度 テニス・バドミントン交流 （鳥取県・江原道・沿海地方で持ち回り開催）</p>

事業名	概要
<p>東アジア多地域連携 交流事業</p> <p>（海外大学生 インターン シップ受入 事業）</p> <p>決算（見込）額 536千円 （財源内訳） 一般財源 536千円</p> <p>○将来ビジョン V【支え合う】 お互いを認め、尊重 して、支え合う</p> <p>○政策項目 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア） 目的 台湾の大学生を対象に県内宿泊施設で職場体験事業を実施し、県内受入側（宿泊施設等）のインバウンド対応能力のレベル向上に繋げるとともに、参加大学生がブログ等に鳥取の観光・祭・食の情報を掲載することにより、鳥取県の魅力の情報発信を図る。</p> <p>（イ） 事業の実施状況</p> <p>（1） 時 期 平成26年7月22日（火）～8月22日（金） 32日間 （2） 参加者 台湾の大学で日本語を履修する学生 29人 （3） 受入施設 県内宿泊施設 10施設 （4） 研修内容 接遇、県内観光地視察、職場体験、成果報告会</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 事業の再設計を行い、受入施設が参加学生へ報酬を支払う研修とした。</p> <p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内受入施設からは、学生とのコミュニケーションを通じて、スタッフも刺激を受け職場も活気づき、また、外国人の文化や考え方も知るきっかけになり、外国人観光客受入対応能力の向上につながったと高評価を得た。 ・参加学生が滞在中に観光地訪問・文化体験等を行い、ブログ又は SNS（Facebook 他）で鳥取の観光・祭・食等の情報を掲載することで、台湾において鳥取県の魅力を発信することができた。 ・研修修了生は、台湾で行った本県の観光関連イベント（「鳥取台北-Design and Craft Hunting」「2015台湾ランタンフェスティバルin台中」）にボランティアスタッフとして活躍した。 ・報酬を支払うことについては、研修生のモチベーションが高まった結果、施設側からも緊張感を持って研修に望む学生が増えたと好評であった。 <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修終了生が帰国後も本県との関係を持ち続けられるよう、台湾で行う本県の観光関連イベント等への参加呼びかけや観光情報発信を継続的に行う必要がある。 <p>（参考）</p> <p>平成23年度 参加大学生17名・受入8施設（台湾） 平成24年度 参加大学生20名・受入8施設（台湾、韓国） 平成25年度 参加大学生30名・受入11施設（台湾、韓国） 平成26年度 参加大学生29名・受入10施設（台湾）</p>

事業名	概要
<p>東アジア多地域連携 交流事業</p> <p style="text-align: center;">タイ王国鳥 取県サポ ーター育成事 業</p> <p>決算（見込）額 1,380千円 （財源内訳） 一般財源 1,380千円</p> <p>○将来ビジョン I【ひらく】 地域で・県外で・国 外で新時代に向か って扉をひらく</p> <p>○政策項目 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア） 目的 タイ王国で日本語を履修している対日関心の高い学生等を本県に招聘し、県内大学生との交流や県内観光地・企業の視察等の様々な体験をしていただき、帰国後にはSNSなどによる鳥取県の魅力の情報発信やタイ国内で県が行う展示見本市等でスタッフとして参加していただく等、鳥取県サポーターの人材育成を行う。</p> <p>（イ） 事業の実施状況</p> <p>① 時 期：平成26年6月25日（水）～7月4日（金）、10日間 ② 参加者：日本語を履修している対日関心の高い大学生や若手社会人 4名 ③ 内 容：○県内大学生との交流（鳥取大学、鳥取環境大学） ○県内のタイ進出企業視察 ○主な観光地視察 ○ホームステイによる日本文化体験 等</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成26年度の新たな取り組みのため特になし。</p> <p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者には、県内滞在中の視察や文化体験を通して、鳥取県の魅力を感じてもらうことができ、鳥取県ファンになっていただけた。 ・また、その体験をブログやフェイスブック等に積極的に掲載してもらいタイ王国においての鳥取県の魅力発信に繋げることができた。 ・さらに、参加者はバンコク市内で行われた観光博覧会の鳥取県ブースでのスタッフとしての協力や県職員のタイ出張の際の通訳等サポーターとして活躍した。 ・鳥取県の魅力を実感している者が行事に携わることで、タイ王国国内での鳥取県業務の効率化が図られ、事業効果を高めることができた。 <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ王国の大学では、大学により年間スケジュールが異なることから大学間の詳細スケジュールを把握し、大学生がプログラムに応募しやすいように日程改善を行っていく必要がある。 ・タイ国内での鳥取県事業と連携し、サポーターの最大限の有効活用を図る必要がある。

事業名	概要																														
<p>国内交流推進事業</p> <p>決算（見込）額 3,905千円 （財源内訳） 一般財源 3,905千円</p> <p>○将来ビジョン I【ひらく】 地域で、県外で、国外 で新時代に向かって 扉をひらく</p> <p>○政策項目 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 市町村が取り組む全国各地にある鳥取県とゆかりのある地域との双方にメリットのある新たな交流等を支援することで地域の活性化を図る。</p> <p>（イ）事業の実施状況 国内交流をより一層推進するため、「国内交流トライアル補助金」により、市町村が実施する国内交流事業（新たな取り組み、拡大した取り組み）を支援した（5団体が実施）。</p> <table border="1" data-bbox="453 551 1404 1153"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>市町村</th> <th>交流先</th> <th>実施時期</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規</td> <td>日吉津村</td> <td>沖縄県 読谷村</td> <td>7月</td> <td>小学生の交流（派遣）</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>湯梨浜町</td> <td>大阪府 高石市等</td> <td>11月</td> <td>天女サミットを通じた地域間交流の拡大（受入）</td> </tr> <tr> <td>2年目 （拡大）</td> <td>大山町</td> <td>北海道 東川町</td> <td>6月 11月</td> <td>両地域で開催する「Sea to Summit」への相互参加等（派遣、受入）</td> </tr> <tr> <td>2年目 （拡大）</td> <td>北栄町</td> <td>滋賀県 湖南市</td> <td>8月</td> <td>小中学生の交流等（派遣）</td> </tr> <tr> <td>2年目 （拡大）</td> <td>境港市</td> <td>大阪府 岸和田市等</td> <td>12月</td> <td>全国コットンサミットを通じた地域間交流の拡大（派遣）</td> </tr> </tbody> </table> <p>（参考） 国内交流トライアル補助金制度概要（H26年度） 補助対象：・市町村（複数市町村による連携含む） ・民間団体（市町村を通じた間接補助） 対象事業：市町村、民間団体が新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡大を含む。） 補助率：1/2（限度額：50万円） ※2年間支援可能</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・高速道路網の整備や新規航空路線の開設を契機として交流の動きを更に加速させるため、新たに民間団体を補助対象とした。</p> <p>ウ 成果 ・国内交流トライアル補助金を創設し2年目となり、地域資源を活用した新たな取り組みが広がりつつある。 ・補助金を活用した5団体のほか、他の市町村や民間団体からも来年度以降の新規の国内交流事業の実施希望が出てきている。</p> <p>エ 課題 ・民間団体に積極的に活用いただけるよう市町村と連携しさらなる周知が必要である。</p>	区分	市町村	交流先	実施時期	主な内容	新規	日吉津村	沖縄県 読谷村	7月	小学生の交流（派遣）	新規	湯梨浜町	大阪府 高石市等	11月	天女サミットを通じた地域間交流の拡大（受入）	2年目 （拡大）	大山町	北海道 東川町	6月 11月	両地域で開催する「Sea to Summit」への相互参加等（派遣、受入）	2年目 （拡大）	北栄町	滋賀県 湖南市	8月	小中学生の交流等（派遣）	2年目 （拡大）	境港市	大阪府 岸和田市等	12月	全国コットンサミットを通じた地域間交流の拡大（派遣）
区分	市町村	交流先	実施時期	主な内容																											
新規	日吉津村	沖縄県 読谷村	7月	小学生の交流（派遣）																											
新規	湯梨浜町	大阪府 高石市等	11月	天女サミットを通じた地域間交流の拡大（受入）																											
2年目 （拡大）	大山町	北海道 東川町	6月 11月	両地域で開催する「Sea to Summit」への相互参加等（派遣、受入）																											
2年目 （拡大）	北栄町	滋賀県 湖南市	8月	小中学生の交流等（派遣）																											
2年目 （拡大）	境港市	大阪府 岸和田市等	12月	全国コットンサミットを通じた地域間交流の拡大（派遣）																											

- | | | |
|----|-----------|------|
| 7 | 決算調書 別途提出 | 別途提出 |
| 8 | 事業別実施状況調べ | 別途提出 |
| 9 | 予備費の充用調べ | 別途提出 |
| 10 | 繰越関係調べ | 別途提出 |

1 1 収入証紙取扱額調べ

(単位：円)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
総務手数料	企画手数料	旅券手数料	4,454件	新規発給 2,000円 記載事項訂正 200円 査証欄増補 500円 渡航先追加 300円	8,867,200	【件数】 新規発給 4,427件 記載事項訂正 1件 査証欄増補 26件 渡航先追加 0件
		計(節)		4,454件		
本庁執行分計(目)			4,454件		8,867,200	
出納機関執行分計(目)			4,217件		8,402,200	
目計			8,671件		17,269,400	
合計			8,671件		17,269,400	

1 2 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金 該当なし
- (2) 使用料 該当なし
- (3) 手数料

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
総務手数料	企画手数料	旅券手数料	2,388件	4,748,700	4,748,700	0	0	旅券法 鳥取県手数料徴収条例	
		計(節)							
本庁執行分計(目)			2,388件	4,748,700	4,748,700	0	0		
出納機関執行分計(目)			2,445件	4,873,200	4,873,200	0	0		
目計			4,833件	9,621,900	9,621,900	0	0		
合計			4,833件	9,621,900	9,621,900	0	0		

- (4) 財産収入 該当なし
- (5) 寄付金 該当なし
- (6) 諸収入 該当なし
- (7) 現金の取扱状況 該当なし

1 3 税外収入未済額調べ 該当なし

1 4 未収金回収促進のための取組状況調べ 該当なし

1 5 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

1.6 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の契約額等	執行（支出）状況					備考	
		議決 (補正・当初の別)	期間	限度額		設定年度の執行額A	債務負担行為の期間			合計 A+B		
							25年度までの執行額	26年度執行額	27年度以降の執行予定額			計 B
パスポート 発給業務委託	委託料	平成24年 12月	H25 ~H29	140,000,000	139,516,335							増税による
		平成26年 3月(補正)	H26 ~H29	3,192,000	3,188,944	0	27,903,267	28,700,503	86,101,509	142,705,279	142,705,279	
合計				143,192,000	142,705,279	0	27,903,267	28,700,503	86,101,509	142,705,279	142,705,279	

1.7 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
企画総務費									
新規以外のもの							7,663,418		
本庁執行分計							7,663,418		
出納機関執行分計							0		
目計							7,663,418		
合計							7,663,418		

(2) 補助金

予算科目 (企画総務費)

- ① 国 補 分 該 当 な し
- ② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交 付 先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額 の 確 定 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				交 付 申 請 年 月 日	完 了 年月日	検 査 年 月 日	概算 精算 の別	支 出 年月日	金 額	
				交 付 決 定 年 月 日	実 績 報 告 年月日	審 査 ・ 現 地 調 査 年 月 日				
琴浦町日韓友好 資料館企画運営 委員会負担金 (平成16年度)	東伯郡琴 浦町赤碕 1140-1	—	1,000,000	—	—	—	概算	H26. 5. 30 合計	500,000 500,000	
日韓交流に対す る理解を深め、 両国の交流の促 進を図ることを 目的とする。	琴浦町日 韓友好資 料館企画 運営委員 会	(補助率：定額)	500,000	H26. 5. 12	—	—				
モンゴル中央県 からの留学生支 援鳥取県奨学金 (平成26年度)	個人	—	2,243,640	—	—	—	概算 概算 概算 概算	H26. 4. 18 H26. 6. 24 H26. 9. 26 H26. 12. 12 合計	1,190,640 351,000 351,000 351,000 2,243,640	
将来、鳥取県の パートナーとな り、両地域間の 交流のコーディネ ーターとなり うる中央県出身 の優秀な若者に 対して奨学金を 給付する		(補助率：定額)	2,243,640	H26. 3. 31	—	—				
国内交流トライ アル補助金 (平成25年度)	境港市上 道町3000 番地	—	3,366,489	—	—	—	概算	H26. 12. 8 H27. 1. 21 H27. 2. 19 合計	215,000 215,809 297,646 728,455	
県内市町村が実 施する新規、発 展型 (既存の交 流の拡充) の国 内交流事業の支 援を行い、国内 交流の推進、地 域の活性化を図 る	伯州綿連 絡協議会 外4件	(補助率：1/2)	1,480,400	H26. 11. 14外	—	—				

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現 地調査年 月日				
鳥取県国際交流財団事業費補助金 (平成5年度)	鳥取市湖 山町西4 丁目110- 5	-	52,161,000	-	-	-	概算 概算 概算 概算	H26.4.24	11,064,000	
				H26.4.8	-	-		H26.7.18	13,625,000	
								H26.10.17	13,979,000	
								H27.1.21	8,658,000	
(公財)鳥取県国際交流財団の運営費等を補助し一層の国際交流の推進を図る	(公財)鳥取県国際交流財団		(補助率:1/2~10/10) 47,326,000	H26.4.17	-	-		合計	47,326,000	
青少年国際協力支援事業補助金 (平成18年度)	米子市皆 生温泉2 丁目8- 34	-	1,320,000	-	-	-	概算 概算	H26.8.6	400,000	
				H26.5.12	-	-		H27.1.21	320,000	
								合計	720,000	
本県青少年の国際理解と健全育成を図るため県内国際交流団体が行う事業に対して助成を行う	青年海外協力隊鳥取県OV会		(補助率:定額) 720,000	H26.5.21	-	-				
鳥取県海外県人会支援事業費補助金 (平成3年度)	ブラジルサンパウロ市外 ブラジル	-	10,411,464	-	-	-	概算	H26.7.25	250,000	
				H26.6.27外	-	-		H26.7.29	600,000	
								H26.8.5	150,000	
在外県人会の活動に対し助成する	鳥取県人会 外2件		(補助率:定額) 1,000,000	H26.7.18外	-	-		合計	1,000,000	
他の地方公共団体のみに交付するもので交付決定額(変更後)が3,000万円未満のもの										
本庁執行分計									52,518,095	
出納機関執行分計										
単県分計									52,518,095	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記載する場合の()書きは補助金相当額である。									

(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 <small>(契約締結時)</small>	完 了 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			年月日	履 行 検 査 年月日				
					(契約年月日) 契約額	契 約 期 間			契約形態			
企画総務費	単 県	鳥取県江原道 職員相互派遣 研修生受入業 務委託	(公財) 鳥 取 県 国 際 交 流 財 団	3,106,000	(H26. 4. 1) 3,106,000 (限度額)	H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31	H26. 3. 27 (免除)	H27. 3. 31	概 概 概 計	H26. 4. 30 H26. 7. 1 H26. 10. 14 H26. 1. 5 合計	1,106,400 626,100 619,400 754,100 3,106,000	国際交流事 業の委託先 として最も 適当なため
					()		随	未				
企画総務費	単 県	「話してみよ う韓国語」第 10 回鳥取県 大会運営業務 委託料	(公財) 鳥 取 県 国 際 交 流 財 団	861,000	(H26. 7. 18) 861,000 (限度額)	H26. 7. 18 ~ H26. 12. 31	H26. 7. 1 (免除)	H27. 1. 9	概 計	H26. 7. 31 合計	861,000 861,000	国際交流事 業の委託先 として最も 適当なため
					()		随	H27. 2. 12				
企画総務費	単 県	鳥取県・江原 道友好交流 20 周年のP Rに係る広告 業務委託料	(株)新 日本海 新聞社	3,083,400	(H26. 7. 2) 3,083,400	H26. 7. 2 ~ H27. 3. 31	H26. 6. 25 (免除)	H27. 3. 31				新規： 県内で最も 購読率の高 い日本海新 聞を発行し ているため
					()		随	未				
企画総務費	単 県	鳥取県・江原 道友好交流 20 周年記念 行事会場設営 業務委託料	流 通 (株)	921,348	(H26. 9. 24) 805,680	H26. 9. 24 ~ H26. 10. 6	H26. 9. 19 (免除)	H26. 10. 6	精 計	H26. 11. 4 合計	805,680 805,680	新規
					()		随	H26. 10. 6				

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託料の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 <small>(契約保証金納付等)</small>	完 了 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			年月日	履 行 検 査 年 月 日				
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			契 約 形 態			
企画総務費	単 県	鳥取県・江原 道友好交流 20周年記念 式典同時通訳 業務委託料	(株)コ ングレ	795,960	(H26. 9. 29) 788,400	H26. 9. 29 ～ H26. 10. 5	H26. 9. 24 (免除)	H26. 10. 5	精 計	H26. 11. 12 合計	818,100	新規
				(H26. 11. 6) 818,100	H26. 9. 29 ～ H26. 10. 5	随	H26. 10. 5	818,100				
企画総務費	単 県	平成 26 年度 自治体職員協 力交流研修員 委託料	(公財) 鳥 取 県 国 際 交 流財団	3,790,000	(H26. 4. 1) 3,344,000 (限度額)	H26. 4. 1 ～ H27. 3. 31	H26. 3. 28 (免除)	H27. 3. 31	概 概 概 計	H26. 4. 25 H26. 6. 27 H26. 10. 2 H27. 1. 14 合計	860,400 868,200 889,200 726,200 3,344,000	国際交流事 業の委託先 として最も 適当なため
				()	()		随	未		未		
企画総務費	単 県	鳥取県吉林省 友好交流 20 周年記念事業 設営業務	(有)あ っぷる はうす	594,000	(H26. 7. 9) 436,860	H26. 7. 9 ～ H26. 8. 13	H26. 7. 7 (免除)	H26. 8. 13	精 計	H26. 9. 2 合計	436,860	新規
				()	()		随	H26. 8. 15			436,860	
企画総務費	単 県	ランタンフェ スティバル鳥 取県観光 PR ブース企画及 び設営・運営 業務委託	聯想國 際行銷 有限公 司	1,241,100	(H27. 2. 5) 1,221,528 (限度額)	H27. 2. 5 ～ H27. 3. 31	H27. 1. 28 (免除)	H27. 3. 26				新規： 主催者であ る台中市政 府から業者 の指定があ ったため
				()	()		随	H27. 3. 26				

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 <small>(契約締結時)</small>	完了 年月日	支出の状況			備考								
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額									
				変更契約（最終）			年月日	履行検査年 月日												
					(契約年月日) 契約額	契約 期間			契約形態											
企画総務費	単 県	鳥取県旅 券発給業 務委託料	マンパワ ーグルー プ(株)	140,000,000	(H25. 3. 28) 139,516,335	H25. 4. 1 ～ H30. 3. 31	H25. 3. 14 (免除)	H26. 5. 9 H26. 6. 9 H26. 7. 9 H26. 8. 13 H26. 9. 10 H26. 10. 6 H26. 11. 7 H26. 12. 4 H27. 1. 7 H27. 2. 3 H27. 3. 6	精 精 精 精 精 精 精 精 精 精	H26. 5. 30 H26. 6. 23 H26. 7. 24 H26. 8. 27 H26. 9. 25 H26. 10. 28 H26. 11. 25 H26. 12. 19	2,394,795 2,391,428 2,391,428 2,391,428 2,391,428 2,391,428 2,391,428 2,391,428 2,391,428 2,391,428 2,391,428	プロポーザ ル								
														(H26. 3. 10) 142,705,279	H25. 4. 1 ～ H30. 3. 31	随	H26. 5. 21 H26. 6. 17 H26. 7. 17 H26. 8. 20 H26. 9. 18 H26. 10. 17 H26. 11. 18 H26. 12. 15 H27. 1. 15 H27. 2. 17 H27. 3. 18	計	合計	26,309,075

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約締結日等 年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			契約形態					
					(契約年月日) 契約額	契約 期間						
企画総務費	単県	平成 26 年度 ブラジル交流 促進事業委託 料	(公財)鳥 取県国際 交流財団	3,173,000	(H26. 4. 1) 3,054,000 (限度額)	H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31	H26. 3. 25 (免除)	H27. 3. 31	概 概 概 概 計	H26. 4. 28 H26. 6. 23 H26. 9. 18 H26. 12. 18 H27. 1. 5 合計	1,097,700 596,300 601,700 1,378,000 2,024,300 5,698,000	国際交流事 業の委託先 として最も 適当なため
企画総務費	単県	平成 26 年度 とっとりふる さと大使制度 の運用等に係 る委託料	(財)自治 体国際化 協会鳥取 県支部	1,000,000	(H26. 4. 1) 1,000,000 (限度額)	H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31	省略 (免除)	H27. 3. 31	概 概 概 概 計	H26. 5. 2 H26. 8. 6 H26. 10. 21 H27. 1. 14 合計	250,000 250,000 250,000 250,000 1,000,000	国際交流事 業の委託先 として最も 適当なため
予定価格が 50 万円未 満のもの											940,140	
本庁執行分 計											43,318,855	
出納機関執 行分計											0	
目 計											43,318,855	
合 計											43,318,855	

(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの） 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利

(平成27年3月31日現在)

区分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		本年度末 (数量、金額)	法人名	備考
		増	減			
出資金	500,320,000円	0円	0円	500,320,000円	公益財団法人 鳥取県国際交流財団	
出資金	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円	一般財団法人 因幡街道ふるさと 振興財団	
合計	510,320,000円	0円	0円	510,320,000円		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	0	20,706円	20,542円	164円	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合計	0	20,706円	20,542円	164円	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
90枚	90枚	114枚	66枚
		334,990円	

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(平成27年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
入居敷金	円 898,000	10	円 0	0	円 0	0	円 898,000	10	
合計	円 898,000	10	円 0	0	円 0	0	円 898,000	10	

注 出納機関分についても、債権ごと、機関ごとに記載すること。なお、その際「備考」欄に出納機関名を記載すること。

- 20 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし
- 21 借受不動産明細調べ 該当なし
- 22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 25 備品の処分状況調べ 該当なし


26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成27年3月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
タイヤ (公用車)	1本	8,964円	—	H26.8.8 午後1時15分頃	シューズ愛ランド道笑店 (米子市道笑町)	訪問先に連絡を入れるため駐車場に停車し電話をした後、車をUターンしようとしたところ、車両左横の視野に入らない場所に縁石があり、右前輪のタイヤを損傷させた。	H26.8.10	賠償責任なし
合計		8,964円						

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
26年12月24日	・有 ・ 	—	—

27 貸付金等状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

注1 本表には、できるだけ何らかの意見・要望等を記載してください。

2 記載する内容

- ①業務の効率化に関する意見等、②制度改正等に関する意見等、③事務の改善に関する意見等、④事務の執行上、支障となっている事項等
- ⑤その他（事業所管課への要望や県政全般に対する意見・要望等）

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし